

平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

シェムリアップ州プオ郡ケオポア中学校建設計画 完成式典開催

2016年12月1日（木）、平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「シェムリアップ州プオ郡ケオポア中学校建設計画」（供与限度額：52,400米ドル）により建設された新校舎の完成式典が開催されました。日本から矢野哲朗元外務副大臣をはじめ、在カンボジア日本国大使館から堀之内特命全権大使が、カンボジア王国からシェムリアップ州選出シアン・ナム国民議会議員が出席して祝辞を述べるとともに、その他在籍生徒、学校支援委員会、地域住民などが参列しました。

本プロジェクトは、ケオポア中学校に1棟5室の校舎及び1棟2室のトイレを建設し、併せて机・椅子等の学習用機材を整備するもので、周辺地域の子どもたちが安心して授業を受けられるよう、2015年12月に贈与契約が結ばれました。本年7月に工事が完了し、この度完成式典を開催する運びとなりました。

同式典で、堀之内特命全権大使は「日本政府は、草の根・人間の安全保障無償資金協力のスキームで、教育分野においては小中学校の校舎建設を中心にカンボジアを継続的に支援している。この支援により、この学校に通う子どもたちが安全で快適な環境で勉強できるようになって嬉しい。この建物が日本とカンボジアの友情のシンボルであり続けることを望む。」と述べました。

矢野哲朗元外務副大臣は「子どもたちは将来のカンボジアを担っており、カンボジアの明るい未来を築くために教育は最も重要なもののひとつである。新しく建設された校舎で、カンボジアの子ども達にしっかりと学んでほしい。」と述べました。



堀之内特命全権大使による祝辞



リボンカット



ケオポア中学校新校舎

シェムリアップ州選出シアン・ナム国民議会議員は、カンボジアにおいて支援を継続している日本国民及び日本政府への感謝の意を表し、「草の根無償資金協力の援助を通して新しい校舎が建設されたことはとても喜ばしい。」と述べました。

スピーチの後、リボンカットが行われ、校舎内を見学して式典は終了しました。